令和８年４月吉日

関係者各位

一般社団法人栃木県水泳連盟
競技委員長　佐藤　智俊

World Aquatics の規則一部改定に伴う国内競技会での運用について

春暖の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本連盟の競技事業に対し、多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、World Aquatics（世界水泳連盟）より競技会規定（Competition Regulations）の改正が公表されました。それに伴い競技規則の一部が改訂され、世界大会においては即日施行された旨、日本水泳連盟より通知がございました。

つきましては、国内大会における運用について下記のとおりご連絡いたします。特に以下 3 点の変更については、**4 月以降の本連盟主催競技会においても適用**のうえ、大会運営を行いますので、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

記

１ 自由形

ゴール直前、頭の一部が５m のマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

２ バタフライ

ゴール直前、頭の一部が５m のマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

※ １、２共に背泳ぎ 6.3 と同じです。

３ **400m、800m、1500m の個人自由形競技では、スタート側の折返監察員は、スタート側の最終折り返し５m前に泳者が達したときから、折り返し後５mに達するまで、注意を喚起する合図を振鈴によって行う。**

※ 400m 自由形が加わりました。水中ラップカウンター、周回板の運用も 800m 自由形、1500m 自由形の運用に準じます。

以上